

東海大学附属望星高等学校

同窓会々報 第5号

同級生

前同窓会長 下倉 良次 (39A)

今年の選抜高校野球大会に東海三高が初めて出場する。佐川前教頭先生もおられたこの姉妹高は、新宿から特急で二時間四十分、長野県茅野市にある。この茅野市は僕の生れ故郷である。

中央線茅野駅に立つて東方を見ると、八ヶ岳連峰に続いて蓼科山がある。東海三高はその手前、玉川地区にある。僕がいた頃、高校は茅野高校しかなかった。この茅野高校と併んで永明中学校がある。これが僕の母校だ。駅からは歩いて七、八分永明寺山の麓にある。

新制中学になって三十三年、新校舎竣工十周年という事で、去年卒業生名簿を作った。そこには二十数年前のなつかしい名前が並んでいる。

数年前の夏の事である。久しぶりに田舎に帰るので、同級生で数少ないゴルフ友達に電話したところ、「君が来るのなら同級生を集めて一杯やろう」と席を作ってくれた。二十年ぶりに集まつた数人の同級生から次々に皆んなの様子が聞かれた。「これから毎年集まるといいなあ」

そう言つて別れたのが実つて、その後毎年開かれている。夏の夜を語りあうので

は物足らず、「どうせ楽しむのなら一泊にしない?」という意見が出た。言い出したのは女性陣である。それから九月初旬に蓼科山に近い温泉で一泊する様になつた。昨年は都合が悪く欠席したが、話によると名簿を頼りに全員に通知したところ二十数名が参加したそうである。四十名のクラスとしては、大変な出席率である。

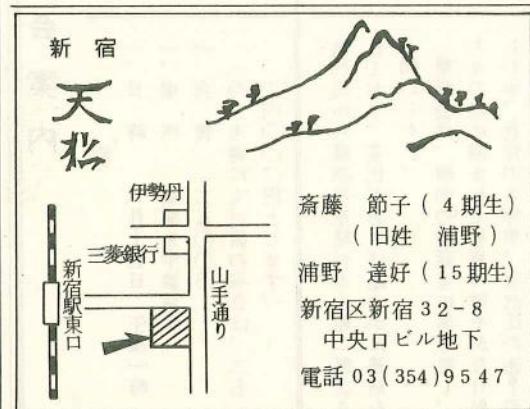
「ゼンチャーン」「ゴタハチ」酒が入つて来ると自然に子供の頃の呼び方になつてしまふ。今は病院長あり、行政官あり、大学講師もあるが、話す事は小さい頃のイタズラ話や、授業をサボッタ話等である。そこにある姿は身分も資格も忘れて昔のまゝである。

担任だった先生も今年は定年だという。もうお互いに生活も落ち着いた者同志なので、遠慮はじらいもなく、童心に返つて言いたい事をすぱりと言いつぶつてやる。利害や義理を感じない純粋な会話がそこにあ

る。やはり二十年を越える年月がそろそろのだろうか。同級生とは良いものだとつくづく感じる今日この頃である。望星高校を卒業して十二年になる。同級生が大勢集まつて、遠慮なく昔を語る様になるにはまだ七・八年かゝりそうだ。気がする。同窓会の有難さはその時にかけて理解出来るだろう。

松長根会長を中心に若いスタッフの諸君には、その時のために同窓生のつながりをさらに深める様、期待している。

同級生が集まるのは楽しいものである。



新しく会長に



会長

松長根哲郎

例年この時
期になるとじ

つとしていら
れなくなるの

も、私一人だ
けなのだろう

かと思う時があります。別に春を迎えて
詩人になるからとも思えないが!!無性

に友達が恋しくなる。かと云つて正月に
年賀状を出すわけでもないのに、今頃に
なると出さなかつた事を悔んでも見たく
なる。

同窓会活動をしながら学校に何度か歩
を運び、先生や後輩達の足早に動く姿は
この時期ならではの光景で、私達卒業し
た者にとってはうらやましくもあり、ホ
ッと胸をなでおろす時もあります。

入学・そして卒業、私達も何度も味わ
つてきた道はあるが、四季ごとに物語
演じられていく姿は学校ならではの感動
であると思います。

私達の同窓会は決して華々しい活躍は
しておりません。今後もそのような事は
ないと思います。しかし会員相互の親睦
のためには何千名になろうともその労を
惜しむことなく活動していきたとい思つ

ております。

年一度の総会には皆様に会える事を樂
しみに計画を立て、一人一人の住所を拾
い書きしている時の不安も、同窓生や先
輩、そして後輩の方々の返信を手にする
時の喜びはまたひとしおの感があります。
もう一つの行事として、家族ぐるみで過
す機会をもうけて見たいと思つております。
総会に都合が悪く出席できない人も
次の機会の行事にはと思って頂けたら、
今後は恒例行事として楽しむれるものに
していきたいと考えております。

同窓会から年一度の総会時に案内書を
発送しておりますので、案内書が届きま
したら参加・不参加に拘らず一筆書きそ
えて頂ければ私達役員は何より得がたい
慰労と思つております。

最後にお願いですが、この頃の状況を
見て判断し、今後会員名簿発行が非常に
難かくなつております。より多くの方
がいつでも連絡が取れるよう原簿を作り、
連絡又は問い合わせ等に即答できる態勢を
作りたいと思い、皆様が転居等の変更が
ありましたら、すぐ事務局又は担任の先
生宛に連絡頂けるようお願い致します。

昭和五十四年度同窓会は、学校創立二
十周年ということもあり、多勢が参加し
た。総会での各報告、新役員選出等は、
一応案通り承認されたが、記念誌の有料
配布、期別役員推薦などで質疑があり、
一部修正があつた。期別「については

第十五回 同窓会案内

昭和54年度も、17期卒業生百余名の新

会員をむかえ、歓迎の意をも兼ねて、左

記の通り、同窓会総会を開催します。多

数の御出席を期待します。

尚、同封ハガキにて、四月二七日まで
に、出欠をお知らせ下さい。

一、日 時	六月十五日 午後一時
一、場 所	東海大学談話室
一、会 費	二五〇〇円
（尚、夫婦にて出席の場合は、二名 で四〇〇〇円とします）	

第十四回 同窓会報告

去年の会報を読み返して内木校長の文
を読んだ時、ジワリと眼瞼が熱くなつた。
「昔をふりかえつて思い出ばなしに涙す
る」「笑われたつていい。そこに自分の
人生があつたのだ」。そうか、先生は同
窓会に来いよ。自分の人生を語りあおう
よ、といつておられるのだな、と思つた。

仕事、仕事で他のことは頭にない昨今、
ふつと昔をふり返る、そこにこれから
人生に励みになるもの、支えになるもの
を落し忘れてしまつてはいないだろうか。
久しぶりにそう思う。

木々の緑に囲まれた初夏の鮮やかな日射
しの中、我校の名物男、原沢氏の迷?司
会により、なごやかに進んだ。「昔をふ
りかえつている人」「現在の境遇を語り
合う人々」、宴だけなわになると生ビ
ル片手に熱気ムンムン、歌が出、なつか
しい顔、恩師の紹介（これはほとんど内
木校長の独壇場である）くじ引きなどが
あり、最後は恒例の校歌齊唱を、肩組み
合わせ、パンカラ声を張りあげて大合唱

して幕を閉じた。老いも若きも？楽しい
一日であった。

なお、望星高校を紹介する映画が出来
ており、二席上映されたが、なかなかの
出来映えであつた。今年もやるから、み
んな来いよ。

伊藤記

近森のこと



校長 内木 文英

四〇Aの卒業生に近森毅という男がいる。望星の生徒は皆ひとりひとりある雰囲気を持っているものだが、彼にも独特なものがあった。つまり個性がおもてにあらわれるということかも知れない。学校が無理ではないかと不安に思うことを彼はやすやすと実行した。現在の望星の文化祭などは、彼がはじめて手がけたものだ。やさしくやわらかくニコニコとはほえみながら、シンがずぶとくて負けん気が強いのだ。学園オリンピックの水泳競技で、彼は潜水競技に参加、五十八メートル泳いで金メダルを獲得した。湘南校舎のプールを眺める時、私はかならずといつていいほど近森を思い出すのだ。ああ、あいつはあそこからスタートして五十メートル泳ぎ、ターンして失神し、氣を失いながら八メートルもどってきたのだ。その時、私の胸に何ともいよいのない熱いものがふきあがってくるのだ。彼は望星を出てから畜産の学校に学び、

郷里の「知県で養豚をやるのだと勇んで帰つていった。それからもう十年近く経つた。

昨年の十二月、私は高知へ行つた。高校演劇の四国大会が高知で開かれ、その審査員として招かれたのである。大会当日の朝、ホテルに電話が入り、何とかして先生来て下さい、と近森がいうのだ。予定がついたらと返事をしておいた。その夜もホテルは予約してあつたし、翌日の午後の飛行機の切符もとつてあつた。

大会の責任者に、高知県の奈判利といふ名の先生は、会が終つたあと車で一時間半ほどのその町へ、私を送っていくという。運転は西原先生にまかせましょう、という。西原先生も、ホテルはキャンセルしよう、今晚はその近森さんの所へとまつて、明日空港まで送つてもらえばいい、というのだ。その夜三人は近森の家へ行つた。

玄関を入れると奥さんがとび出して来た。養老院と墓地の間の土地に、たいへんモダンな家が建つていた。

「あら」と彼女は包国先生と西原先生の姿を見て驚きの声をあげた。二人の生は彼女の高校時代の恩師であったのだ。

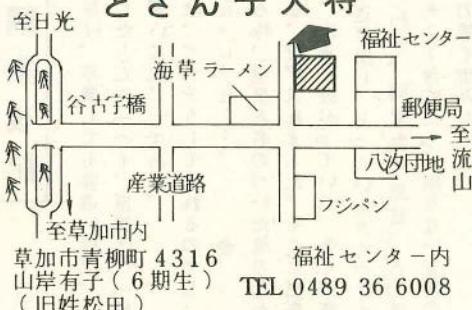
そこへ近森があらわれ、私たちの再会のひとときであつた。

翌日、近森につれられて山の中の養豚場の実際を見せてもらつた。二〇〇〇頭もの豚がいて、機械化された豚舎の中で生きていた。景気の変動で、一頭について一万円程度の赤字になるが、手びかえるべきか、どうすべきか迷つている、と近森はいった。「積極的であるべきだ」と無責任な言を私は吐いた。



サッポロラーメン

どさん子大将



卒業生割引優待



アートメガネセンター

新小岩店

東京都葛飾区新小岩1丁目 42-12
新小岩駅南口 1分長崎屋隣り
TEL 03-651-1547
(3期卒業生) 瓦井修

学校だより

昭和54年度は、望星高校創立20周年にあたり、一つの節目として、回顧と前進の年であった。

◇ 創立20周年記念祝賀会

6月16日、東海大学校友会館にて、政財・学界の人達をはじめ、卒業生も多数出席し、盛大に望星高校の発展を祝つた。

◇ Sクラス第一回卒業生

広域制としての望星高校の手始めとして開校したSクラスは、先生方の親身のご指導もあり、脱落者はほとんどなく20名が卒業の栄冠を手にした。

創立二十周年記念祝賀会に出席して

金谷義孝(14期卒)

望星高校創立二十周年記念の案内状をいただいた。

霞ヶ関ビル内の望星の間という、昨年

田口君(49A)の結婚式をおこなつた場所であった。

今日は、暑かつたのだが一張羅の背広を引っぱり出してきる。結果的に皆様正装だったので恥かかずすんだのだが……。式場では、松前総長先生、内木校長先生をはじめ、各界のお歴々が一堂に集まつてゐる感じで、なかなかのものであつたが、いやしい私は、目の前のオードブルや酒、そして美女に目をうばわれる。

◇ 演劇部の活躍
文化祭に本格的な演劇に取り組んできた演劇部は、坂井・成田両先生の熱心な指導もあり、今年度の都私中高協会演劇発表会にて最優秀賞になり、都高校代表として、全国アマチュア演劇研究大会に出席して演出賞を受けた。

◇ 四年連続、全国大会に出場(卓球部)
女子卓球部は、都大会において、むかう所に敵なしの強みをみせ優勝。全国大会に連続四年間出場した。尚、男子卓球部も全国大会に初出場した。

◇ Mクラス
町田技艺高等専修学校との連携教育が正式に結ばれ、約百名の女生徒が、Mクラスとして入学した。

◇ 金谷義孝(14期卒)

式の進行は、総長、校長の話しさに始まり、その話しの中で当時の御苦労のようすがよくわかった。

学校紹介では、在校生の生活ぶり(モ

デルは52A阿部正憲君他)が映画であり、デルは52A阿部正憲君他)が映画であり、まわりの招待客から「ほう、こうして勉強しているのか」と感嘆の声も聞こえた。

閉会後には別室において、校長先生、諸先生方とまた祝杯をあげ、校歌、建学の歌となるのだが、この頃になると二十周年記念の実感がわき、心なし先生達の顔にも、心地良い疲労がうかがえた。

望星高校創立二十周年記念の案内状をいただいた。

霞ヶ関ビル内の望星の間という、昨年

田口君(49A)の結婚式をおこなつた場

所であった。

今日は、暑かつたのだが一張羅の背広

を引っぱり出してきる。結果的に皆様正

装だったので恥かかずすんだのだが……。

式場では、松前総長先生、内木校長先

生をはじめ、各界のお歴々が一堂に集まつてゐる感じで、なかなかのものであつたが、いやしい私は、目の前のオードブルや酒、そして美女に目をうばわれる。

連合同窓会長野 総会に参加して

◇ 望星は、卒業しても非道い所だ。
入室したとたん「ハイ、原稿は」「編集後記書いてね。」である。

◇ 今日は、ごちそうしてくれるのでしゃうね。ヒッヒッヒ……。金。

◇ ある時、望星と名のついた池のなかに小石を、投げ入れました。そこに出来た輪は、次々に広がっていく。多くの卒業生を送り出し。どっこい生きつづけて

いる。わが、同窓生の諸君。八〇年代のスタート台にたち、限りない友情のもと、力強く歩みだそう。

◇ 松長根新会長のもとで新役員、新編集のフレッシュコンビの船出。

◇ 我らに、七難八苦を与えたまえ(本根は別)。

◇ 望星高校創立二十周年記念誌 残部あり、千五百円にて頒布します。

◇ 同窓会あて申し込み下さい。

◇ 望星高校創立二十周年記念誌 残部あり、千五百円にて頒布します。

編集後記